

研究結果報告書

台湾における日本語の受容と定着に関する言語研究

所属：淡江大学 日本語文学系

役職：助理教授

氏名：林 青樺

台湾では生活用品をはじめ、ファッション、漫画、アニメなど、日本から輸入したものが生活の中に溢れている。その影響で、台湾の中国語にも日本から入ってきた言葉が多用されている。

本研究は、台湾に渡った日本語の「オタク（中国語：〈宅zhai2〉）」「萌え（中国語：〈萌meng2〉）」という言葉を取り上げ、台湾の大学生178名と日本の大学生70名を対象にアンケート調査を行った上で、「オタク」「萌え」はどのように台湾で受容され、中国語と接触した際にどのような意味・用法の変容が見られるのかについて検討した。その結果、以下のことが明らかになった。

I：文法的側面：

【オタク（中国語：宅）】

台湾における〈宅〉は、次のように使われている。

- (1)名詞用法：〈模型宅〉〈阿宅〉〈破百肥宅變型男〉
- (2)動詞用法：〈整天宅在家〉〈小明常宅在宿舍〉〈我已經宅了三天〉
- (3)形容詞用法：〈宅男〉〈他很宅〉〈不要那麼宅好嗎？〉

一方、日本語の「オタク」は、「健康オタク」「オタク女子」などのように、一般的には名詞として使われているが、「オタクな男性集団」など、形容動詞として使われる場合も見られる。

【萌え（中国語：萌）】

台湾における〈萌〉は、次のように使われている。

- (4)名詞用法：〈小寶寶到處賣萌〉〈她很會演萌〉
- (5)動詞用法：〈萌死人不償命〉〈萌翻各大影評〉〈我最近很萌這部〉
- (6)形容詞用法：〈柴犬超萌〉〈萌兔子〉

一方、日本語の「萌え」は、「萌えキャラ」「方言萌え」などのように、名詞として使われ、「セーラー服に萌えますか」「人気お天気お姉さんに萌え～」など、動詞として使われる場合も見られる。このように、日本から台湾に入った「オタク」の〈宅〉と「萌え」の〈萌〉は、中国語の単語兼類現象という文法的特徴を受け、品詞の多様性を見せているのである。

II：意味的側面：

台湾に入ってきた「オタク」の〈宅〉は、「特定の分野・物事に熱中し、特にアニメーションや漫画に夢中になって関連情報の収集を積極的に行う人」という日本語の「オタク」の本来の意味を受け継ぎながら、「外出を面倒がったり、おっくうだったりし、家でゴロゴロするのを好む人」という新たな意味合いを生じさせている。さらに、このような意味変容が関わって、台湾の大学生は「オタク」から来た「宅」という言葉に対して、①特によいイメージも悪いイメージも持っておらず、「宅」を使う時は、②自嘲したり人のことを揶揄したりして、使うと「面白く感じる／感じさせる」という表現効果を意識している。

一方、台湾における〈萌〉は、使用率順に(a)純真無垢で可愛い、(b)癒し効果がある、(c)少し足りないところが可愛らしく思える、アホ可愛い、(d)ある物事に心を奪われ、夢中になる、という意味で使われており、日本語の「萌え」の意味と重なりながらも(a)(c)の新たな意味合いを生じさせている。また、オタク用語と思われる日本語の「萌え」と違って、「萌」という言葉に対しては「よいイメージで、主に女性が使うものである」ということが意識されている。

研究成果の公表について

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

林 青樺（2016a）「台湾における日本語の受容と定着に関する一考察－『オタク』を例として－」
淡江大學日本語文學系創系50週年黃憲堂教授紀念國際學術研討會（2016.3.26.）

林 青樺（2016b）「台湾に渡った『萌え』の意味用法に関する一考察」BALI-ICJLE2016日本語教育國際研究大会（2016.9.9.～2016.9.10.発表）

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

林 青樺（2016）「台湾における日本語の受容と定着に関する一考察－『オタク』を例として－」
『日本語の様々な姿を考える 黄憲堂教授記念論文集』（掲載予定）

林 青樺（2017）「台湾に渡った『萌え』の意味用法に関する一考察」『日本語文法』17巻1号

書籍（題名・発表者名・出版社・発行時期等）